









kintoneに登録したデータを カンタンに地図にする ブラウザで動作する 地図プラグイン







kintoneアカウントを 持っていない人にも 地図情報を共有できる!

✓ カンタンマッププラグインで表示されている地図を一般公開できます。







- ✓ 公開したいものをkintoneの中で選択 どこにどの情報を公開するのか kintoneの中で決めることができます。
- ✓ 一般公開しているサイトなどに
 公開マップにつながるURLを置いておくだけ
 公開したい地図情報をヒアリングし、
 当社から公開マップのURLを提供します。
- **◇** 公開のみになるので一般の方は データの編集・削除はできません。







活用事例

- ♥ 災害時の被災情報の提供に活用
- ✓ 問い合わせがある地図情報を一般公開することで、 窓口対応の手間を削減 (開発許可申請、道路工事情報等)











■被災状況の公開を想定kintone&カンタンマップを起動

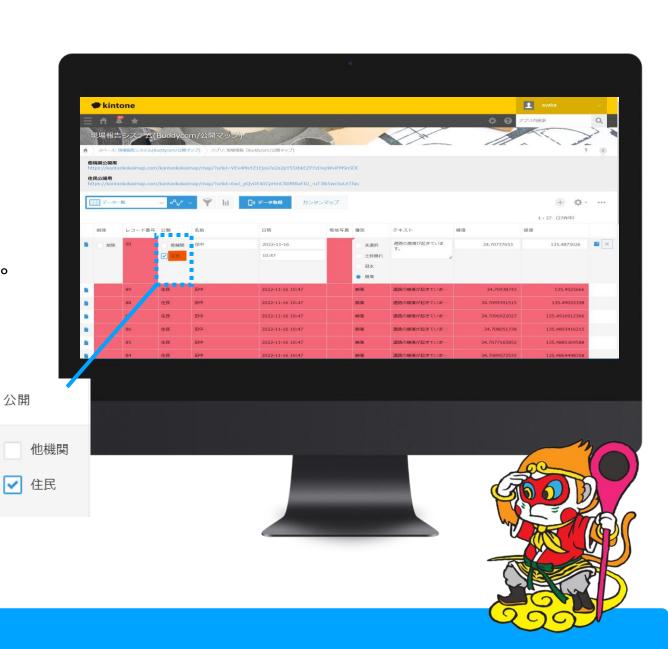
- ✓ どこでどんな被災状況にあるのかを
 カンタンマッププラグインで確認します。





公開する情報をkintone内で選択

- ✓ カンタンマッププラグインで状況を確認した後、 それぞれの情報をどこに公開するのかを選択します。
- ✓ この場合、他機関か住民に公開すると想定します。





カンタン公開マップにつながる URLをクリック

- ✓ kintoneで公開するデータを選択すると、 カンタン公開マップに反映します。
- ✓ 当社から提供されるカンタン公開マップつながる
 URLをクリックします。
 - ※このURLを一般公開されているサイトに置くことで kintoneのアカウントを持っていない方でも 地図アクセスできます。





カンタン公開マップを閲覧

- ✓ URLを開くと、 カンタン公開マップが表示されます。
- - ※この時、kintoneで公開するように 選択していないものは表示されません。
 - ※kintoneに登録されているデータを すべてそのまま公開することも可能です。





カンタン公開マップを閲覧

- ✓ ピンをクリックすると、そのピンの情報を確認できます。
- ✓ 公開マップでは、閲覧のみで編集や削除はできません。
 - ※公開マップに表示できる情報は、 kintoneにあるデータを元に公開しています。 どんな項目を表示させるのかは、 kintoneの作り方次第でカスタマイズできます。
 - ※kintoneの一覧画面で絞り込んだ情報のみ、 表示させることも可能です。





ご提供いただくものについて

- ✓ カンタンマッププラグインが

 入っているkintoneアプリのIDとAPIトークン
- ✓ MapDrawDataのアプリIDとAPIトークン
 - ※ MapDrawDataはカンタンマッププラグインを 使用するときにダウンロードするテンプレートアプリです。
 - ※APIトークンはレコード閲覧のみ
 - ※一覧ごとに公開マップを作成する場合、kintoneの一覧名が必要になります













活用事例のご紹介や機能説明など!

